

Q&A

地域の安心安全と課題解決について



山本俊一郎 議員

SHUNICHIRO YAMAMOTO



龍野IC周辺まちづくり区画整理関連事業について

問 渋滞対策の具体的な取組みは、どのようにするのか。

答 県道網干たつの線の4車線化・周辺交差点の右折レーン延伸や、新規道路を検討し、交通の円滑化や安全で快適な生活を確保するため、計画的に整備を進め、渋滞緩和策に取組む。

小宅小学校区通学路の安心安全について

問 堂本中交差点南（県道東背崎網干停車場線）の道路拡幅と、富永交差点（国道179号線）の右折レーン設置などの対策は取れないのか。

答 たつの市通学路安全対策協議会において議論を行い、安全対策の早期実現に向け、県へ要望していく。

山陽自動車道高架下の利活用について

問 雨の日でも子供が遊べるよう

な大型コンビネーション遊具等がある公園施設や、夏場の熱中症対策にもなるため、部活動や自主トレーニング等でも使えるようにはならないのか。

答 要望される自治会や団体等があれば、利活用の条件を踏まえ、NEXCO西日本との協議を進めていく。

JR姫新線本竜野駅周辺の中心市街地まちづくり検討事業について

問 現在の進捗はどのようになっているのか。

答 全国に向けたサウンディング型市場調査、民間活力を生かした複合施設整備・公民館等の公共施設再編に向けたまちづくり構想を引き続き調査・検討していく。

JR姫新線本竜野駅にコインロッカーを設置してはどうか。

答 観光客や駅利用者の利便性を高めるため、早期設置を検討する。

その他の質問事項

● JR姫新線本竜野駅の雨天送迎時のロータリー混雑を避ける為に、市営駐車場30分無料化を導入してはどうか

Q&A

災害や犯罪から市民を守る政策の取り組みについて問う



赤木 和雄 議員

KAZUO AKAGI



犯罪から市民を守る取組

犯罪を未然に防止するための取組みとして、防犯カメラの設置に関する取り組みが進められていると聞く。本市の対応と取組みについて問う。

問 犯罪の抑止力となる防犯カメラの設置状況と、今後の取組みについての考えはどうか。

答 本市が設置している防犯カメラの設置状況は333基で、うち教育施設に208基である。また、自治会等の地域団体では168基である。令和6年度の新規事業として「地域の安全安心見守り力メラ設置事業」に取組み、引き続き、各種防犯対策の強化に努める。

龍野公園周辺整備について

令和3年度に「赤とんぼ荘利活用」の提案コンペが行われたが、「コロナ禍の影響もあって未決定のままである。動物園を中心とした龍野公園周辺もインク

ルーシブ公園の整備が進められている。龍野公園周辺を含めた今後の取組みについて問う。

問 赤とんぼ荘の利活用と、今後の取組みの考えはどうか。

答 赤とんぼ荘利活用検討委員会を開催し、民間資本を活用した公募型プロポーザル審査の実施に向け、協議を進めている。

また、民間事業者による利活用のアイデアや、民間の資金投入による施設の改修や、新設を含めた施設整備を考えている。

問 龍野公園と動物園の活用について、今後の活性化をどのように進めるのか。

答 龍野公園については、本市の総合公園として「訪れる誰もが一緒に楽しく遊べる」インクルーシブ公園の整備を進め、動物園とあわせて、賑わいの創出を図っていく。



インクルーシブ公園計画図